

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年 6月 30日

大分県知事
広瀬 勝貞 殿

提出者

住 所 大分県日田市大字高瀬8058-1

氏 名 豊中建設株式会社

代表取締役 関 忠雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0973-22-7303

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

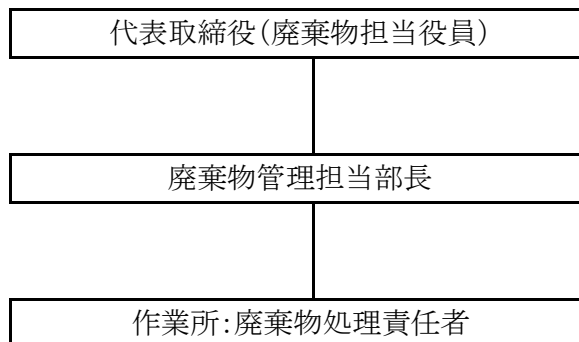
事業場の名称	豊中建設株式会社
事業場の所在地	大分県日田市大字高瀬8058-1
計画期間	平成28年4月1日から平成29年3月31日
当該事業場において現におこなっている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	219,340千円(元請完成工事高)平成28年3月期
③従業員数	43人(平成28年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・がれき類(アスファルト・コンクリート塊、コンクリート塊) →再生処理業者に委託して再生骨材及び再生合材として再資源化する。 ・その他産業廃棄物→処理委託し再生利用を促進し、最終処分量を低減する。

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成27年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまで実施した取組) 公共工事については、設計書による再資源化施設への搬入 その他についても、廃棄物の分別・保管を徹底し、再生利用を推進する		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 廃棄物の適正な分別・保管を徹底し、再生利用を推進する。 発生抑制の為の教育・訓練指導を強化する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物と有価物の分別・保管の徹底
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も廃棄物と有価物の分別・保管を徹底する

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度(平成27年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度(平成27年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入に関する事項			
①現状	【前年度(平成27年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度(平成27年度)実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 可能な限り中間処理業者に委託し最終処分の削減に努めた。		

②計画	【目標】別紙のとおり	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 事業者ごとに収集運搬業者・処分業者と委託契約し、最終処分まで 行われたことを確認する。	
※事務処理欄		

平成28年度 産業廃棄物処理計画 (大分県)

豊中建設株式会社

上段:平成28年度目標量

下段:平成27年度実数量

単位: t

記入項目	産業廃棄物発生量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行う量	自己中間処理により減量する量	自ら埋立処分、海洋投入する量	処理委託	
		自ら再生利用を行った量	自ら熱回収を行った量	自己中間処理により減量した量	自ら埋立処分、海洋投入した量	処理委託量	再生利用量
産業廃棄物	2,000.00	0	0	0	0	2,000	2,000
	2,173.89	0	0	0	0	2,173.89	2,173.89
コンクリート塊	100.0	0	0	0	0	100.0	100.0
	129.07	0	0	0	0	129.07	129.07
木くず	5.00	0	0	0	0	5.00	5.00
	7.00	0	0	0	0	7.00	7.00
廃プラスチック類	1.00	0	0	0	0	1.00	1.00
	1.53	0	0	0	0	1.53	1.53
建設混合廃棄物	10.00	0	0	0	0	10.00	10.00
	6.58	0	0	0	0	6.58	6.58
汚泥	0.0	0	0	0	0	0.0	0.0
	1.7	0	0	0	0	1.7	1.7
平成28年度目標量合計	2,116	0	0	0	0	2,116.0	2,116.0
平成27年度実績合計	2,319.77	0.00	0.00	0.00	0.00	2,319.77	2,319.77